

# 學會彙報

○昭和四十年年度漢文學會總會

〔漢文教育研究会〕 六月二十六日(土) 於都立杉並高校

## 一、研究授業

第二學年漢文〔韓愈〕雜說〔大修館版〕

實施者 土屋 裕氏

第三學年漢文〔韓非〕二柄〔尙學圖書版〕

實施者 井關 義久氏

## 研究会

### 第一部

(1)當番校挨拶

司會 田部井委員  
杉並高校長代理 秋山 明氏

同校國語科主任 安藤 太郎氏

(2)教授者説明

(3)質疑應答

(4)小林委員長挨拶

### 第二部

〔漢文入門篇の問題點について〕 司會 青木委員  
江北高校 鶴城 紀元氏

〔研究發表會〕 六月二十七日(日) 於東京教育大學

司會 今井、横山、大久保委員  
大學院 宮内 保氏

一、晚清期の翻譯小説

一、晚清「詩界革命」の詩について

一、その自由・民主・反侵略思想 大學院 許 常安氏

## 〔講演〕

易の九六について

一、王充評價に關する二、三の問題點 函館大學 清水 榮氏  
二、沈既濟と小説 新潟高校 内山 知也氏  
一、先秦諸子の「習俗」觀 教育大學 緒形 暢夫氏

## 〔總會〕

一、開會の辭

司會 志賀委員

一、報告並に議事

(1)議長選出(松下 忠氏)

(2)各部報告

(3)委員長挨拶

(4)庶務報告

(5)研究一報告

(6)研究二報告

(7)議事

(8)昭和三十九年度收支決算

(9)昭和四十年年度豫算

(10)客員・會員退會の件

一、閉會の辭

## 〔懇親會〕

司會 青木・田部井委員  
志賀委員  
志賀委員  
青木委員  
青木委員  
小林委員長

## ○講演會

昭和四十年十一月十三日(土) 午後二時 於東京教育大學

「詩語について」

お茶の水女子大學教授 倉田淳之助氏

○昭和四十年月度月例會

○五月八日(土)例會

中國近代の文學思想

―その一、晚清改良派と小説―

大學院 宮内保氏

干支紀年について

大東文化大學 小嶋政雄氏

○十月八日(土)例會

新中國見聞談

本學助教 牛島徳次氏

○十二月十一日(土)例會

「文心雕龍」の批評論について

大學院 向島成美氏

蘇東坡の畫論

大學院 横山伊勢雄氏

○二月二十二日(土)例會

清末の紅樓夢評論

―

―王國維「紅樓夢評論」を中心として―

大學院 宮内保氏

中國古代の唯物論

大學院 大久保隆郎氏

―「論衡」を中心として―

○二月五日(土)例會

「三家詩」考

大學院 巨勢進氏

「子夜」までの茅盾

大學院 平松辰雄氏

○昭和四十年年度漢文學關係講義一覽

(一)一般教養科目

小林教授 漢文學講讀 (思想)

鈴木助教 漢文學講讀 (文學)

(二)外國語科目

牛島助教 中國語 二 (文法)

長谷川講師 中國語 二 (作文)

陳講師 中國語 一 (會話)

志村講師 中國語 二 (文法・作文)

賴講師 中國語 一 (講讀)

中村講師 中國語 一 (讀本)

伊藤講師 中國語 一 (讀本)

(三)専門教育科目

小林教授 中國思想史演習 (周易)

鎌田教授 中國思想史演習 (大學・中庸)

日本漢文學演習 (管子・韓非子)

中國思想史 (管子文集)

河野教授 中國言語學概論

牛島助教 中國言語學演習

鈴木助教 中國文學概論

中國文學演習 (李白)

陳講師 中國語學講讀 (宗詞)

前野講師 中國文學講讀 (元曲講讀)

水澤講師 史記講讀

藤堂講師 中國言語學特講 (中國漢字と言韻)

四大學院科目

小林教授 中國思想史 (列子講義)

鎌田教授 中國思想史 (春秋學)

牛島助教授 中國語學 (六朝文法)

鈴木助教授 中國文學 (唐詩の綜合的研究)

○學位論文

牛島德次氏「古代漢語文法論」於東北大學 (四一、二、一〇)

藤川正數氏「漢代における禮學の動向」於東北大學

(四一、二、一〇)

— 參考論文「魏晉時代における喪服禮の研究」(既刊) —

○紀要論文

今井宇三郎氏「周易參同契分章通真義校本」(四一、三、二五)

○昭和四十年年度學部卒業論文題目

一、老子の研究

一、公孫龍子研究序説―其の論理的展開に關して―

一、莊子に於ける人間像

一、墨子

一、趙樹理研究―その文學の成立要因と初期の作品―菅野正則

一、作家巴金論

安尻大輔

謠口 明

加藤 駿

狩野二郎

品川高宣

一、李賀の詩

一、孟浩然研究

一、黄宗羲と明夷待訪録

一、荀子における天について

一、薛濤研究

一、陶淵明研究

一、元曲選の風俗劇について

一、杜牧とその詩について

一、魯迅の文學觀

高木重俊

武井幸子

津田 亨

中村俊也

新田恭子

古屋義裕

松永守男

吉田孝子

余田浩司郎

敬弔 **清水 榮君** (函館大學商學部助教授)

略歴 昭和三四、三 教育大學文學部漢文學科卒業

昭和三七、三 同 大學院修士課程卒業

昭和四〇、三 同 大學院博士課程修了

昭和四〇、四 函館大學商學部專任講師

昭和四十年十一月九日午後五時、自動車事故にて殉職、助教授に昇任。

遺族

東京都世田區玉川等々力町三ノ六 (神子方) 清水光子

※ 尙學會として弔意を表しましたが、遺族より記念として立派

な書棚を研究室に寄贈されました。

逸經 文史半月刊 一—三六期(一九三六—三七)

中國資料叢書7 謝興堯主編 上海人間書屋刊影印

B5上製 全三卷 一一、〇〇〇圓

魯迅年譜 中川俊編

A5 六〇頁 一五〇圓

內野博士 選曆記念 東洋學論集

A5上製 五〇〇頁 二千圓

目加田博士 選曆記念 中國學論集

A5上製 五〇〇頁 二千圓

京都大學漢籍綜合目錄(集部)稿

A5上製 三三五頁 一、二〇〇圓

中日大辭典 愛知大學編

三十年の歲月と中日兩國學界の協力により、最新最大の辭典いよいよ完成へ、収録語彙十三萬語

B6 二千頁 本年未刊行 前金豫約價三千圓

豫價三、五〇〇圓 豫約受付中

東京都千代田區神田神保町二—一四  
振替東京一九二六一〇二六五〇二二

大安

# 殷契粹編

中國科學出版社  
郭沫若著

B5判 七七八頁 上製 價二、三三〇圓

甲骨卜辭一五九五片を拓片で收め、そのひとつひとつに詳しい考釋をほどこした郭沫若の名著。一九三七年日本での初版に若干の増補改訂を加え、考古學專刊として出版された

定評ある前四史標點本！ 中華書局刊

史記 (漢)司馬遷撰 顧頡剛分段標點 A5判 價二、八三〇圓

三國志 (晉)陳壽撰 陳乃乾校點 A5判 價一、三三〇圓

漢書 (漢)班固撰 A5判 價三、五五〇圓

後漢書 (宋)范曄撰 (唐)李賢等注 A5判 價三、一三〇圓

東京都千代田區神田神保町2—2  
電話(265)7531(代表)振替東京100009  
營業所・大坂京都

極東書店

支那文を  
讀む爲の

# 漢字典

田中慶太郎編譯 文求堂版重印  
新書版六六〇頁 金六百八十圓

選擇の適切と解釋の明晰さは夙に定評高く、  
一度利用した人は、必ず推奨する最も便利な  
漢字典、初版本の如き上質紙を使用、印刷の  
精良、製本の堅牢と相俟つて、永く座右の好  
伴侶となることと信じます。

東京都千代田區神田神保町二丁目七番地

有 限 會 社 山 本 書 店

電話九段 〇八四七番  
振替口座東京五九九五〇番

パーティーは

## 中国情緒豊かなバイキングで

お料理・デザートから裝飾万端、すべて「中国」でお  
楽しみ頂きます。

御結婚披露・クラス会・同窓会・謝恩会・新築祝・法  
事・誕生祝・編集会議等、何でもお電話一本で直ぐに御  
相談に参上致します。

興味しながらお料理を学ぶ集い

書籍文物 出張講習  
流通会 中国料理 料理教室 試食会

電話 (八一三) 四六〇六  
(八一三) 一七〇六・一七〇七

当方会場御利用の方は早目にお申込み下さい。

大会場は一〇〇人収容可 冷暖房完備

新選

小学館版

# 漢和辞典 新改訂版

東京教育大学教授  
文学博士 小林信明編

(B6小判 一、三二二ページ 予価五五〇円)

▼親字八千三百余。見出し語六万余、その量において優に一般中辞典を凌駕。

▼高校用漢文教科書をはじめ学習資料としての漢籍中の漢字はそのほとんどを網羅。

▼古典語・成句・日常の生活漢語・人名・地名その他の学習事項を充実。

▼現代中国音及び中国の常用語も収録。詩韻・漢音・吳音・慣用音なども表示。

▼親字の音訓のうち、当用漢字音訓表にあるもの太字体で明示しさらに新旧の別も指示。

▼教育漢字八八一字の原義を説文解字で解説。  
▼学習に便利な巻末付録つき。

東京 小学館 振替東京  
神田 二〇〇番

## 学研の参考書

### 古文単語の整理法

国学院大学教授＝今泉忠義監修  
B6判・232頁 定価200円

### 古典文解釈の公式

東京教育大付属高学教諭  
村上本二郎著  
B6判・236頁 定価220円

### 漢文解釈の新技法

国学院大学教授＝藤野岩友 共著  
国学院大学講師＝浅野通有  
B6判 224頁 定価220円

### 古典文の完全研究

実践女子大学教授＝三谷栄一 共著  
東京都立北園高校教諭＝野村嗣男  
B6判・448頁 定価400円

## 発行—学研

東京都<田園調布局区内>大田区上池上  
TEL (720) 1111 (代)

●この一冊で受験も予習もOK!

# 基本古語辞典

東京教育大学教授・小西甚一著

この辞書は高校生のためのという立場から従来にない形式・内容に工夫をこらした。一例をあげれば、見出し語にグレイドをつけ活字の大きさを変えたり、項末の(一)内に補説をおき、高校生にとって新鮮な知識を提供し、古語に対する興味を喚起したりした。また解説も、辞書くさい訳をやめて現代語として適正な訳をつけた。ポケット判・六〇〇頁・ビニールクロス製函入・価三八〇円

## 受験国文法の研究

田辺正男・山崎孝雄共著

系統的に国文法を学びたい人は第一章から順に(正攻法)、ウイークポイントを克服したい人は重点的に(インスタント・コース)といふわけで、受験用にも自学自習用にもなる本である。

B6上製頁  
396頁  
¥380

## 私の現代国語教室

関 良一著

いろいろな種類の文章とその筆者・作者について学び考える―著者独自のユーモラスな解説で、国語の嫌いな人もきつと好きになる、好きな人はもっと好きになる、そういう本である。

B6上製頁  
358頁  
¥350

## 受験漢文の研究

鎌田正監修・山本哲夫他共著

現行のあらゆる漢文教科書と大学入試問題を、詳細に分析研究し、能率的・効果的な学習が出来るよう配慮、又今後の入試傾向対策にも受験生の便宜を計っている。高校生の漢文学習の福音書。

B6上製頁  
312頁  
¥330

大修館書店 東京都千代田区神田錦町3の26

### ■講談社版

# 標準高等漢文教科書

乙I (古典 132) 1000冊  
\*42年度版より全面的に改訂!  
漢文教育界最高峰の著者が一人一字一句まで執筆されました。  
\*訓練入門の段階を整備し、実地訓練で導きやすく工夫しました。  
\*人物中心のユニークな単元構成により、歴史・思想・文学の流れを究明できるよう組立てました。

著者 小林信明  
教授士  
京大 博士  
教育 博士  
東京 教授



乙II (古典 063) 75冊  
\*乙Iの単元組織とは対照的に、学問分野にそつた分類学習による構成になっています。  
\*乙Iの学習に一段と幅を与え、さらに既習の知識の明確な整理ができるように計ってあります。  
\*本書において、漢文教育への理想が見事に結晶しています。

発行所／東京都文京区音羽3-19／講談社／電話 942-1111

全宋詞 1-5 5,000圓 中華書局

藝文類聚 上・下 2,080圓 中華書局

清代七百名人傳 上・中・下 5,200圓

香港遠東圖書公司

中國古方志考 1,070圓 中華書局

詩詞曲語辭匯釋 (精) 1冊本 760圓 中華書局

(並) 上・下 630圓 中華書局

振替・東京116786 中國圖書專門 內山書店 東京・神田・一ツ橋二の三  
TEL 03 5561-3

文學博士

今井宇三郎著

論語・孟子要解 二〇〇圓

山梨女子短大助教  
緒形暢夫著

故事成語・諸子要解 二〇〇圓

國學院大學講師

石田 博著

十八史略・史記要解 二〇〇圓

文學博士

山岸德平著

唐詩評解 三〇〇圓

都留文化大學學長

中西 清著

十八史略評解 四〇〇圓

文學博士

内野熊一郎著

論語評解 三〇〇圓

國學院大學講師 石田 博著 三三〇圓

【新刊】90日完成漢文ゼミナール

稻村 徳著

入試 古典文研究法 三〇〇圓

増淵恒吉・小海永一著

現代國語の總合研究 四三〇圓

稲村 徳著

古典文の總合研究 四三〇圓

關良一・村松定孝・石丸久著

完成 現代文ゼミナール 二二〇圓

三谷榮一・野村嗣男著

完成 古典文ゼミナール 二五〇圓

近代文學注釋大系

全十二卷  
【內容見本是】

付 芥川龍之介吉田精一 二〇〇圓

近代評論 増淵恒吉 石丸久著

注 近代詩關 良一 七〇圓

近代俳句 神田秀夫 楠本憲吉 七〇圓

全 夏目漱石吉田精一 七〇圓

森 鷗外三好行雄 八〇圓

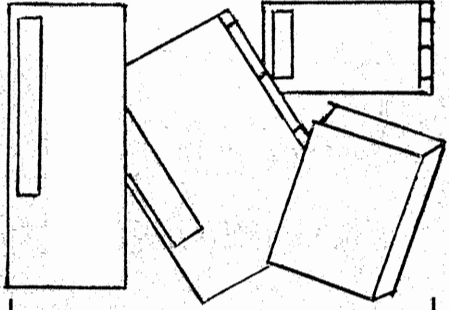
續刊！ 石川啄木・近代短歌・夏目漱石(石丸久著)・樋口一葉・芥川龍之介(他)

精堂

東京神田保町1の39  
振替 東京 40684



和漢古書籍賣買



松雲堂書店

東京都千代田区神田神保町3~1  
電話・東京 九段 6498

文部省科擧研究奨励金  
東京都教育助成金 受領

標準學力検査研究會による

高校標準學力テスト

- 一、學年別、年四回(四、六、九、十二)發行
- 二、國數英の三科目を新傾向問題で出題
- 三、各回毎に、全國集計、全國順位發表

東京都新宿區市谷砂土原町二一七

標準學力検査研究會

(振替東京六四九七番、電三〇、三〇四)

事務所 敬文社(振替一四八九八番)  
(電二六〇、三〇四六)

漢文研究法

東京教育大教授・文博 小林信明著  
B6型 364頁 定価399円

▶ 漢文の総合的参考書で、左記の『古文研究法』の姉妹編ともいべきもの。  
▷ 基礎編と理解編の2部より成り、基礎編では文字の用法、構文の把握に重点をおき、理解編では思想・文学・歴史など漢文の理解に深みを持たせるようになっている。

……「大学進学コース」評……

漢文の参考書が國語の参考書に比して一般的にはあまり工夫がなくわかりにくい、その中にあるはずきりと割り切った説明がされていて理解しやすい。

古文研究法

る壁一著 早大教授・川副国基先生評——優れた学者としての  
光双基 小西博士の総力がかがついている西期的な名著であるこの  
での小西 本でこそ本堂に古典読解の實力をつけることできる。高枚  
生は勿論、大学生、教壇に立たれる方にも一読をおすすめし  
たい。(B6四八四頁・四〇円)

教育大教授・佐伯梅友博士評——だれでもほ  
えみながら作業にかかれて、指定のとおりまじめにやっ  
れば、やがて卒業する。暗記を求めたのではなくて、消化  
された『國文法』の学習指導は、そういう指導の本だ。自習す  
きた生徒には勿論だが、指導される先生方にもぜひ見ていた  
きたい本である。(B6三四二頁・三〇〇円)

国文法ちかみち

東京都新宿区喜久井町34 洛陽社 振替 東京 35220  
電話 (203) 5479

## ○東京教育大學漢文學會々則

- 一、本會は東京教育大學漢文學會と稱し、事務所を東京教育大學漢文學研究室に置く。
- 二、本會は漢文學及び漢文教育の研究と普及とを圖るのが目的である。
- 三、本會の會員は左の通りである。
  - 1 東京教育大學漢文學・東洋文學及び東京文理科大學、東京高等師範學校の漢文學關係教官（退官者を含む）
  - 2 東京教育大學漢文學大學院中國古典學專攻學生及び卒業生並に東京文理科大學漢文學・東京教育大學東洋文學專攻卒業生
  - 3 その他入會を希望する者
- 四、本會の主な事業は左の通りである。
  - 1 總會 年一回
  - 2 例会 年約七回
  - 3 會報及び會員名簿の發行
  - 4 その他必要な事項
- 五、本會の役員は左の通りである。
  - 委員長 一名
  - 委員 若干名
- 六、委員長は本會を代表し委員とともに運営に當る。  
委員は本會の研究・庶務・會計を分擔する。
- 七、委員長は委員の互選による。  
委員は東京教育大學學部學生中から四名、大學院學生から二名、專任教官から三名、一般會員から四名をそれぞれの互選によつて選出する。その任期は二年（學生委員は一年）とする。但し重任は差し支えない。
- 八、會員は會費年額六百圓、（但し學生は半額）を納める。
- 九、本會會則の變更は委員會の審議を経て、總會出席者の過半數の承認を得なければならない。

## 後記

○昨年引き続き、本年も會報を發行することができましたのは、會員諸氏が各方面から御協力下さつた賜物であります。今後とも益々學會發展のために一層の御協力をお願いいたします。

○本年も幸にして、都内の共立社で印刷することができましたので、萬事都合でありました。殊に正字が自由に使えてうれい。發行の期日も嚴守してくれました。ここに共立社に對しまして深甚の謝意を表します。

（今井・大久保）

漢文學會々報第廿五號

昭和四十一年六月二十日 印刷  
昭和四十一年六月廿五日 發行

（非賣品）

編輯者

東京教育大學漢文學會

田部 井文雄  
今井 宇三郎  
大久保 隆郎

印刷所

東京都千代田區神田神保町三ノ一〇

株式會社 共立社印刷所  
電 例 二一〇二八

發行所

東京都文京區大塚三ノ廿九一

東京教育大學漢文學會  
振替東京四七六〇〇番